

# 森を感じ、木を感じるものづくりプロジェクト



福島県立テクノアカデミー浜 建築科

## 1 はじめに

私たちは、日々大量の木材を使って実習を行い、大きな恩恵を受けている。しかし、木の生い立ちも見たことがなく、本当の意味では、木の大切さがわからないのではないかと疑問を持っていた。

木は、森林に植栽され手をかけられ何十年もの時を経て伐採される。更に製材されてはじめて木材となる。その意味で森は建築においても根源的な存在であると想像できる。しかし、私たちにとってあくまで想像に過ぎない。

国産材が見直されつつある今だからこそ、私たちは、建築技術者を目指す者として、しっかりと地元産木材の現状を知った上で木製品の製作を行い、森林の大切さと木製品の魅力を発信したいというのが本プロジェクトの目的である。

## 2 プロジェクトの概要

### 森を感じる

→森林・林業実態を調べる

### ものづくり

→地元木材への愛着と感謝の気持ちを込めて製品を作る

### 木を感じる

→原木から材木への工程を調べたり、活用事例を見学する

### 情報発信

→SNSで活動状況を発信  
→製品を展示PR

## 3 活動の成果

### (1) 森を感じる

(協力 相馬地方森林組合 様、相双農林事務所森林林業課 様)

相馬地方森林組合様立会いのもと地元である新地町の森林伐採現場を見学した。

環境保全のために、森林資源の有効活用を学ぶことが出来た。



### (2) 木を感じる

(協力 (株)ウッドコア 様、朝田木材産業(株) 様、東京木材問屋協同組合 様)

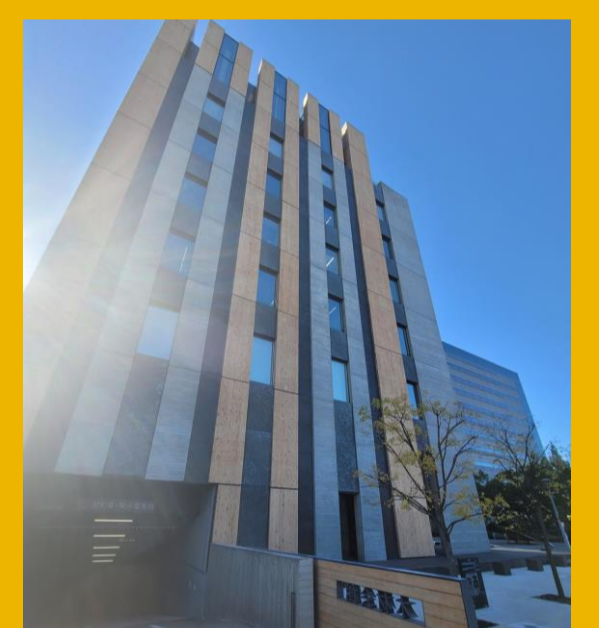
国内最大級の製材工場であるウッドコアを見学した。大規模構造向けの大断面集成材を製造し、多角的な木材の活用方法を学ぶことが出来た。



製品製作の材料発注先である朝田木材を見学した。

震災の影響による木材利用の現状、様々な機械による木材の加工技術の多彩さを学ぶことが出来た。

大都会東京の木材会館を見学した。木材の特性を生かした多様なオブジェクトが展示されており木材の活用方法を学ぶことが出来た。



### (3) ものづくり

(協力 道の駅なみえ 様)

- 道の駅なみえ様に承諾いただき、納品先決定
- 納品先との打合せでパンフレットラックの製作に決定
- 案を出し合い試作模型を製作
- 納品先で試作品の提案
- 納品先がシンプルなもの求めていたため設計変更
- 設計完成
- 材料発注 (地元産の木材：朝田木材産業(株)様協力)
- 製品加工
- 納品、展示PR



道の駅なみえ



設置場所



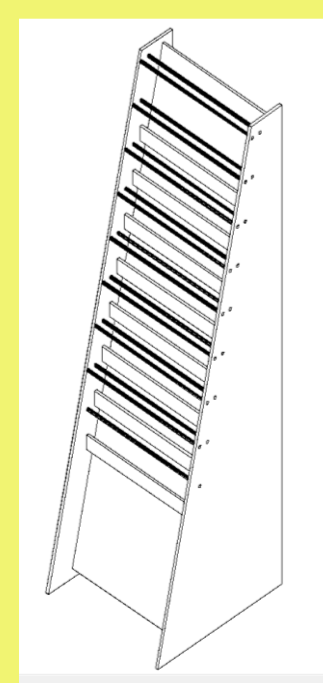
試作品の数々



納品先での打ち合わせの様子



打ち合わせをもとにした模型



設計図



製作の様子

### (4) 情報発信

(協力 道の駅なみえ 様)

打合せの様子や見学の様子等をTwitterに投稿し、自分たちだけでなく他の人にも今回自分たちが学んだことを知ってもらうために発信している。



## 4 おわりに

今回の活動を通して木の大切さ、尊さを改めて感じる事ができた。普段、我々が当たり前で使用している木材や木工製品は、たくさんの人を介しているおかげだと実際に現場見学をすることで体感した。木材の特性を理解し生かすことで環境問題の面でも、木材には多くの可能性を秘めていることを教えていただいた。現時点で完成・納品に至っていないため、今後、製品製作とPRに全力を傾けて取り組んで行く。

情報発信のため木材のことを学んだが、今回の活動だけでなく、将来、仕事で得た森林の大切さと新たな魅力をより多くの人に知ってもらえるよう努めたい。そして常に地元木材への感謝の気持ちを忘れない建築技術者を目指していきたい。